令和８年９月３日

第３回　学校運営協議会議事録

八王子市立清水小学校
校　長　岡田　信一郎

１、運動会・日光移動教室の開催時期の見直し

校長「落ち着いて年度をスタートさせるため、来年度から運動会を１０月に実施する。２学期に学校行事が集中しないよう、６年生の日光移動教室を６月に実施する。」

委員「確かに５月の実施は慌ただしい。」

委員「移動教室の日程を変えるのは宿泊先の関係で難しいと聞いていたが、できるのですね。」

２、夏季休業期間の拡充

校長「教職員の休暇を確保するためにも、令和９年度は、令和７年度までと同様、１学期終業式を７月１６日（金）とし、面談期間を７月２０日（火）～２３日（金）、清水移動教室を７月２１日（水）～２２日（木）とする。」

委員「令和８年度は、どうして夏季休業日が短くなったのか。」

校長「給食回数を年間１９５日に増やすことが八王子市で決められ、給食回数を確保するために単純に登校日数を増やした。」

委員「登校日数を減らしても、給食日数、授業の時間数は確保できるのか。」

校長「令和７年度の状態に戻すわけなので授業の時間数は確保できる。始業式や終業式等にも給食を提供することで給食日数も確保できる。」

３、電話対応時間の変更【４月保護者会資料・再確認】

校長「４月の保護者会、８・９月の学校便りでもお知らせした通り、教職員が本来業務である授業・学習指導に専念し、子どもたちと向き合う時間を十分に確保できるようにするため、２学期から電話対応を勤務時間内に変更させていただいた。

委員「留守番（自動音声のこと）電話機能を付けられると良い。」

委員「留守番（自動音声のこと）電話機能も大事だが、一般の会社、役所などでも、それが当たり前になっている。保護者もそれを理解し、先生方が授業・学習指導の専念できる時間をつくらせてあげてほしい。」

委員「対応時間外や対応不要案件（遅刻や欠席等）に教員が電話対応せざるを得ない事が、“自動音声電話機能がないこと”ではなく、学校運営の定めを周知された者が、その目的を理解しルール順守ができないことが問題。」

４、前期学校評価

校長「特別支援教育、キャリア教育についての取組、児童が自分も友達も大切にすることについて、保護者の皆様からの理解が低い傾向にあった。取組を強化するとともに、既にやっていることをしっかりアピールしたい。教職員・児童のアンケートからは、挨拶やいじめ防止、安全管理等の生活指導面では、教職員・児童共に肯定的な評価が

高く、相関関係も強いことが分かった。これが現在の清水小学校の強み。児童が落ち着いた学習環境は整備されていると感じている一方で、ＩＣＴ機器の有効活用については、教員も苦手意識・課題意識が強く、児童もＩＣＴ機器の活用が「学習を深める明確なツール」と認識できていない状況がある。次期学習指導要領でも中心に据えられているデジタル学習基盤の構築に向けて、目的感を児童とも共有してＩＣＴ活用を推進していきたい。最も大きな課題は、地域学習の推進と外部連携。教員個人や学年に依存しないカリキュラムと仕組みづくりを進めていく必要を感じている。」

委員「特に小学校には、外国語等、新たな学習活動が次々と導入され、先生方はご苦労されている。地域学習にまで手が回らないのはよく分かる。」

委員「だからこそ、私たちが地域でできることを考え、先生方や学校の教育活動を支えていきたい。」

５、ブラスバンドの指導体制

校長「以前からお伝えしている通り、朝練習・土曜日練習（教員の勤務時間外）の教員の指導に課題がある。外部指導員による指導と保護者による運営参画が必要。八王子市教育委員会教育長、統括指導主事にも相談。これまで複数の音楽関係者にも交渉したが協力者は未だ見つからず。」

委員「本来、教員にやらせることではない。中学校の部活動改革でも、本当に苦労している。特に音楽関係は難しい。小学校はもっと大変だろう。教育委員会にも協力してもらいたい。」

委員「こういう状況だからこそ、保護者や地域も共に考え解決策を見つけたい。」

６、教職員人事についての意見具申

委員間にて協議（非公開）